

入選

彼が教えてくれたこと

福岡県 東山中学校

2年 石橋知晃

2年前、まだ僕が6年生のとき、登校しているときだった。いつも通りに2年生の子や4年生の子、そして保育園からの親友と歩いていると、彼が、

「あの人、何か困ってるんじゃない？」

と、聞いてきた。僕が、彼の見る方に目をやると、1人の男性がスマホを見たり、周りをキョロキョロとしたり、とまどっているようだった。僕が「話を聞いてみようか。」と、近づいていくと、男性も困った様子で話しかけてきた。

だけど、僕は「しまった」と思った。そう、その男性は韓国語をしゃべっていた。英語ならまだしも、韓国語がまったく分からない僕は、その場で固まってしまった。だけど、親友の彼は違った。彼も韓国語は分からないと言っていたけれど、男性のスマホを見て、どこに行きたいのか理解したのであった。

彼は、スマホで男性の行きたい場所までの道を丁寧に指でなぞった。男性の表情も明るくなり、「アリガト、ゴザイマス。」と、カタコトの日本語で言った後、目的地に向かっていった。僕は、終始びっくりしたままだったけれど、彼はいつものようにニカッと笑った。そのとき、改めて彼をすごいと思った。

そうして、僕らは中学生になり、夏休みを過ごしていた。僕は、趣味で年に1、2回山登りをしているのだが、その日は、父さんといっしょに宮崎県から鹿児島県にある山を登っていた。そして、登り終えて降りる途中、海外の人が話しかけてきた。あのときと似た状況だと思った。でも、彼のように言葉で伝えられなくとも、自分も人助けをしたいと思った。

今回は父さんもいたので、いっしょに海外の人の分からないことを教えてあげた。その海外の人、6年生のときに親友が道を教えた人と同じように、笑顔になった。僕は、英語を話すその人とハイタッチをして、その場を後にした。その日、僕はずっとご機嫌だったと思う。人に感謝してもらうこともうれしかったけれど、言葉がなくても他国の人とつながれたことがうれしかった。僕は、親友の彼のおかげで、親切は国をこえても人を笑顔にさせてくれることを知った。

彼からしたら何気ないことかもしれないけれど、小学生の頃の親友の行動は、僕にたくさんのことを気づかせ、経験を与えてくれた。彼の行動力、素直さにはいつも驚かされる。

これからもずっと僕は、彼の親友でありたい。